

唐長
以來
新刀辨疑

二

20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 130 1 2 3 4 5



6203

新刀辨疑卷之二

上ノ作列



助廣

摂州大坂の任人津田越前守延寶二年より近衛流小銘を切を親助廣も越前守と切ゆゑの銘ハ又ヤリ者白小秀たる作也

真改

攝州大坂の任人井上和泉守國貞ハ道号也同銘三代あり及ハ二代目寛文延寶天和申の人也銘ハ類ハ如名人なり

國廣

山城國洛陽一条堀川の任信濃守藤原國廣二字銘或ハ藤原國廣と四字とも切芝長年の作多し彫物ハ明壽ハ似たり

忠吉

松本氏道弘ハ子肥前國忠吉也慶長元永上京して埋忠の壽ハ人々ある寛永元武藏大塚とある忠廣と改銘を削つと稱す

明壽

山城國西陳佐理忠の祖祖有忠吉ハ師也重吉と切ハ者ハ孫芝長元永寛永の人也宗吉とも切ハと聞

助直

本國近江國高木の人也津田越前守と切ハ人ハ近江妹智とあり津田近江守助直と切ハ近江國任人直也近江とある任助直と切

一竿子

正清

安代

繁慶

市徹

國重

重義

國輝

松津國大坂の住人栗田口三代近江守忠綱の道号也を親も後ハ也
江守と切取不又不あり萬大史と云彫物の名人世不知る所也
薩摩國住人宮原江守と稱す初ハ薩州佐田藩と切取ハ水
正清と切一葉の葵と切ハ當意す薩ハ覺た矢と稱しと
薩州佐田藩平の末主馬首安代初ハ玉置小市郎或ハ平と号一葉
葵を目打官の上切取を一つ平安代と云大の平也
本國駿河後江戸少住す銘前編ハ委し而し稱ある物也ハ作
依物多し鉄炮の銘ハ清覺と切取多く自保し弱きが如し
武藏國江戸の住江州書多松村の生あり後一移ハ江戸一移
銘前ハ書寛文近寛平の人自保し強き物也
備中國お田の住代大月與平又大と云國重とも切寛平の人正
宗義弘とも稱し程の出来も有朋つまハ物と善とす
山陽國西條の住堀家重義ハ朋弄る子也そ又寛永の比の人切物の
名人あり作彫物せふおふとせりとの也
揚州大坂の住人山林伊勢守初集進と切ハ初代孫本國助
四男少と云河内と云也

吉道

吉道

吉道

國助

照包

重國

包保

興正

京師丹波守の初代ありは作るる刀ハ多し平作多し至て上
手也其書丹の人也地氣強く銘自保し強き物多し
揚州大坂の住人世不祖父丹波と号す初代丹波守吉道ハ見也
初代の大和守と号仰も有公廉又の達人也
揚州大坂の住人初代の大和守也銘の形ち小さく庵原し丁子龍
又の名人あり一書云云京守吉道つと稱す
揚州大坂の住人二代目河内守也世不中河内と云丁子龍又達
或ハ重花大龍又ハのの由有同銘數人又云云有
揚州大坂の住人越後守の二代目坂倉と云進と云丁子龍又
海大龍又數ハ大と云の名人有
紀伊國の住人初代ハ松前守重國造之と切本國ハ強おゆ世人
諸何多珠と云直又ハ出来物多し龍又ハ来の如し
初代包保子揚州大坂の住人也陸奥守包保と云また大龍
切世又ハ初代陸奥守と云銘つまハ
初代包保子揚州大坂の住人子或ハ子ありと云中ハ銘形唐倣ハ似
たうと云と云

國安

洛陽一系堀川の住人國廣の弟ありと云々銘中心又定ふあり國及とも切しと云

國傳

山城國堀川住人系國傳と切二子銘もあり若し國廣の住人ありと云々堀川住人國傳と切多し又山城守代切しと云

國改

一系堀川の住人又國廣の弟ありと大隅守系西弘の父也云々上二子銘云國改は其の作りも多しと云

正弘

一系堀川系西弘四字銘多し大隅守系西弘と切二子國改の住人ありといふと切也

美平

山城國堀川河原系美平の弟ありと云々銘も山城住人美平と切或ハ平山城住人美平或ハ大隅の美平とも切二子銘と云

上作列

吉道

堀川の住人二代目大和守銘大字也二代目銘多しと云作も吉道と云々吉道や吉道の良き國傳也云々

包保

和州住人又珠蔭系大保とも陸奥守代切二子銘或ハ和州包保とも云々ありと云

貞則

井上貞改の弟子鈴木加賀守也依り書つと云鈴木と切寛文延寶天和等の事ありと云々又す岩城と云打しと云と云

治國

井上貞改の弟子ハ幡小憲治國と切時代云々同じ鑑天目と云

秀興

薩州の住人也興和系忠重と云人よりと云興ハ其の銘あり鑑天と云

貞了

井上貞改の弟子貞了と云肥前守平戸松浦系の治也貞了と云

古道

京丹波の二代目此作ハ十の葉を切を少ありあり鑑天の上手銘大字切

國路

京國廣の弟子出羽大縣系京國路と銘す數代あり初代ハ上手あり二代目ハ大縣ありと云々國廣の弟子と云

國助

堀河系代河内系也重系丁子系文の上手丁子系文ハ父の作よりハ大ありと云々鑑天ハ父ありと云

久道

京近江守系久道親ハ菊一輪銘切ハ久道ハ二代目ありと云々鑑天ハ父ありと云

本國海中のふちまで横州と滿及び江都あり又倭のふち満水田
或ハ江戸の田と云細瀬まで天満位と云しふ出物多し

薩州佐々木ハ西清よりハ古く尺ゆる物也薩摩打の中よりハ幾
細々あり甚し西房ハつねあらん

薩州佐國平奥惣三郎と云地鉄砂ふゝとあゝ鑑石を此作國人の
の貴重多ふゝ江府所を稀あり

薩州佐人かゝる奥帝左衛門と云國年とは吾人の忠をうけること
又うづり作るものし忠をうけるにたる

薩州の佐正房老田伊豆守又摠左衛門其つゝ若鏡等と地鎮細也
此作正清の上にもあつた物あり薩州打ち走らした

井上真改の弟子と云ふ銘國平作と切る多しは作申心の仕立又る
よてやま室大筋違也川崎作と聞と云和泉守國義の父也

大坂二代目丹波守也雄大筋遠葉ハ切々ず
 外々もあそびやうな人し

紀伊國の人にて大坂に住す花房備前守源祐國と切大龜又海龜
當美す大龜又切其の上糸也

京師五鍛冶の一人近江守源久遠と切つ輪兼切む三代目より
兼つ輪を付る回銘とくとも抄ありや二代目前ふてつたり

播磨國姫路の生粟田に國綱の末葉の傳を交代し粟田氏以て稱せ
とす前近江大掾より色江とて並後井氏也

肥前國陸奥守藤原忠吉ハ三代目也万治三年陸奥大掾寛文二年陸奥守と成り新之助と云々忠吉ハ忠廣と改めす

振州大坂の住人初代丹波守の人も丹波守藤原直道と切寛文派
寶の年号の案一ふまを切後の兼道と切るゝ京若くはと稱す

平家盛任正俊ハ、初代越中守孫系正俊也。同銘数代有藤原と切替
長の子号あるを賞美す

大坂の怪人、井越、あま深来、信吉、近実、と、和久、享の比、也、京、正、徳、作、
の、信、吉、う、弟、也、村、の、お、手、利、う、て、中、出、来、う、う、く、あ、り

掾方坂人也後信別給奉^レ移^ル仕奉^ルの比ハ左字ハ陸奥守包重
とも打又右銘ハ包保其切是^レ吾陸奥守ありぬ者変と云

肥前國佐田江大掾藤原忠廣ハ武元大掾ノ子ニテ二代目也壯年
の比ハ忠吉とも切平作郎と云寛永十八年ナリ色江大掾ニ任ス

振興方坂の住つ竿子う子まで之代目近はちあふ福也改進と云
大龜文の上糸也

山州の佐々五郎治の一人初代何賀守金道ハ寛永中の人あり
同銘義代あり初代ハ古作の如くすて上手也

薩州の正清うつゝ之藤作と云ふ所も亦る處々すをある
録多き物あり

揚州の中河内う門茅池田鬼种丸國重揚州佐國重と切り多し江
 戸も任し又奥州岩手及ひ羽州秋田も任す薩州も下りしと
 大坂中河内う茅伊勢守國輝も是也肥後守國康同銘二代者幼代
 八歳下り

方叔尹河内之弟伊尹之國輝々足也
伊尹之國康回銘二代者幼代
八端下

大坂初代忠綱より弟子松本伍藤系ありと切目銘数人あり其の名人あり之を銘をもよほす

美州國分多林佐山城大掾藤原國色之監極端自深く松目のそふ
至て尺事あり

摺州大坂の佐田忠之助尉清信と切以作交親せざるハワとも
 曾丁子龜文ハ忠經の幼代也似ても有大利を害道不似下と云者ハ非也

播州佐々木五郎右衛門尉宗榮五郎とも又吾作とも切伯居一
尔小あゝす値ありとも打

武州の佐小笠原昌裔長旨或ハ長宗共切聖振松田爲弘多し細直
又の名人あり小笠原藤九郎と云池端又佐二代目ハ佐吾と云

仙臺徳宗侯御戯の作也銘色々有候物ありし安偏々作と同し
かゝるを

肥前國河内太櫛森原正廣二代目忠吉是也寛永十八年河内太櫛
正廣と切代々正廣と永と続す仍て河内森と云

飛前の國土羽の大掾寛永十六年より名乗知寛文三年物羽を
不任す孫七を國吉代々二男として西慶の弟也初ハ康慶と知くんとす

山城國鞠子の佳人より其長身中のふ也二字銘多し世人は其鞠
る重次と書きたすは銘よりて長谷部の如し

備中國荏原住國重大自與五郎々祖父よりふ田のえ祖也末の
ふ田よりハ尋常の出多し上ふあ里

德中國之爲臣國重二代目之節名廟と稱す曰銘數代此作公不問

征子國位播磨大掾忠國ハ武藏大掾忠廣ハ子之同格
勲代あり勲代上者也

薩王庶兒府位孫原國次生作あ、餘小あえ多く自派し國平く作
又似り

傳中國の四位目として與平公の子大月氏を傳とす
と云ふ所不_レお_レう_レば_レ作あり

肥前國近江大縣忠廣四代の忠吉也元禄六年より家督とある此
作父陸奥守より此より後水子とある物なり

東奥磐城任人根本和氣雪孫系國席ハ井上生ノ故ヲア人前里ニ云
二代モ有リハ不出来スルモ尺中

擧州大坂住人常陸守初代也播磨姫路或ハ若州少彦より住せし
と又多田守と稱すは田助麿の門弟とありしとも云

檣州大坂元祖和泉守藤原國貞ハ元和寛永正保其安の弓の工也
井上忠政父トシ堀川國廣の弟子ト云々ト云

去坂任人田越前守父也招州任捕系助度と切後ハ越守也
切お子の作又ハ主吟阿り

屋州の生まへは藝州に住す肥後雪嶺原耕廣作と切以任ハ拙麁ヲ耕
磨リ父より福治正則の作工やと云り穰々上り来り

摺州位誠後ち包貞初代の銘ハ摺州位藤原包貞或ハ誠後ち包貞
と切當なり進家事の銘ハ又ハあり

薩州位安定は作ハ寛久近實より古く免ゆる物也あゝ輕一面より
みても甚だううあゝものなり

携物去坂住富田陸奥守播磨康成ハ富田奥物於大江山遣之と打
 上り有効去後所監康成と切代傳中書康成子とて富田六郎なりと云

京師の生ゝて勢別津住人陸奥守藤原家長と切束の山城とと兄弟あり

平安城住藤原弘幸と切洛陽源川に住す凡廿五元和寛永の比ふ
るべし亦又ふ少少物多し飛又亦も國廣の、と一

振州ち極佳上野也管系包宗ハ地狭至て到く鑑自者て佩刀とあす
屋地物や多ふ左轡ふしと中心足るや市面ふと云

加卜

大村加卜銘いりく小切を編みあしを不焼あるふし又され地の内一面ふやきし者

重包

筑前國佐國一赤原田内所主包は作小龍文中中龍文並五何事も小龍白くして赤く火加減能はひ者上赤や下赤茶つるを切ると赤くす

紀克

河州横小路或ハ和州郡山小住す大坂城中を色國う子角井越中守輝邦の道は作ハ大龍文並五津波り者並五津ハ銘有て是なり也

助宗

和州佐田宗ハ津田内所主也信州佐田小千守ハ別也此作和州佐田の作の逆有て大龍文あるものよし

吉信

山城國佐田吉信と切は作和州の作のつ人赤茶能はひり並五津龍ふしと定るなり

長幸

攝州の住人也於攝州國長幸作之或ハ多し羅氏と切しも有は作紫鏡よりして佐田龍文の名人也龍の附ハよりし者

重國

和州國の住也於重國龍文保重國作之と切二代目金助と云は作多く並五津ある龍文並五津す地鉄細よりして佐田

金道

末伊賀守龍文急道より日本和州佐田道と切紫大龍文並五津二代目とすは作地鉄よりして大龍文並五津す並五津ハふハふあり

方清

長州の住人也玉井州都方清つ射二王方清と切を紫文並五津中の二あり地鉄細よりして小龍白く大龍より花や歩物也

廣政

和州住人長狭と源廣政ハ津田内所主也源廣政と切は作津田よりして上赤や龍のありハ宮よりし者

康廣

紀州和州守長狭と源廣政ハ津田内所主也源廣政と切は作津田よりして上赤や龍のありハ宮よりし者

兼若

紀州和州守長狭と源廣政ハ津田内所主也源廣政と切は作津田よりして上赤や龍のありハ宮よりし者

信高

尾張國の住人也伯耆守龍文信高和州佐田よりして上赤や龍のありハ宮よりし者

信高

二代伯耆守龍文信高和州佐田よりして上赤や龍のありハ宮よりし者

安定

武州江戸住人大和守安定と切は作地鉄よりして上赤や龍のありハ宮よりし者

安倫

奥州仙臺住人安倫と切は作地鉄よりして上赤や龍のありハ宮よりし者

輝廣

穢則任人播磨也。穢亦穢磨と切替。此はもう子なう。沈う。子。細。又。穢。

負次

擧剛位貞次或ハ伊イハハチチ貞次ト切也井止生及チ弟子トモカサス

撫州及豫州相山王位寸陸之馬橋輝政と切伊勢守國輝之父子也故又及八和京大振國輝立打宜二代目ハ必ホリ教代有

因州の住人也初代因州住藤原兼光と切中し給ふ事之由のよ
ふ地鉄細くして小鍛白くして治く事を成るゝの也

檄州後土州へり而す陸奥者古より物是も大極物代と和名を言
道り弟也大和不能以て子氣を不出來物多し

招徠任之免後土刑一以之上國爲吉國と即是も大坂初代大和守
吉道弟予とて吉乃の兄也作又同一し

泉則住源信國重包地鍊細小自淨く上あふり平四時左衛門とく
別人より古く久ゆ。

犯吾國任伊勢大掾藤原吉廣と切也直みとす一と以龜文ハ賤し
き出馬ノ毎し

肥前國佐大和太孫孫系兼廣と切は作も右小目ハ蓋シ
多と号に父小太と云ふ上云也は作も直多と云ふ

わが自承末系河内守包定江戸の住どうも銘あり地鉄細小能く
あがりそは銘小銘わくふくくく鷹方又名をうけあつきの可

山陽國任人後固少下而す信濃大縣孫系忠國と切は作地録細
又關龜文の如く又ハ丁子龜文も子孫數代可と見つたり

筑前國源吉貞八竹園一家也小謠句小龜文二之上手也信國一
類ハ上手多しと云二村人以此作書物也一

九州住信國源吉包は作方又同じ重色う作ふ似て小龜文のを入
るゝといふる事あるもの者

新舊國源信國重宗此即者同し別て此作より強物多し指料
 とす程き物あり者

續水之稻佐國重ハ多ク大月市我弟子共々つと稱す此作大与
云々似て岩籙ありて上ホ也數代連綿すといふ

對る雪橋常光ハ江戸の佳人石堂の一人也此作地録序に歸て自
深く上り也對る雪は法と云ふ者常光ハ法号と云儀も有

傳中國水田大月市花ハ序左邊ト云す大々々子ヲて後以繼
大孫又成其孫小孫有て少也之明廣比江府一トナ

豊州高田佐藤原右衛門左衛門の方丈のよき史作といふ鑑と
好まざる自らてつづく史新編をよむべし

國武

中何の國助つ人たわさ菅原國武も其の比ハ終ち取上野守菅
原助包と打し

國益

土州佐國益作と切又上野大探主打地鉄細ふくく自深く小龜文
ふくく又ふくく又板初代子作吉道つ子也

金道

海陽佐人利泉守来金道の初代大谷師法指来泉也作地鉄細
ふくく中龜文ハ強く出来大龜文の地鉄ハふくく又ふくく

吉國

彦州佐法城寺吉國は作地鉄引張て法平一宗の如くあり細小龜
自育くよふや法城寺肥後守吉次子子て根本金之國と号す

正成

東多の寺制正成ハ備前國の佐人又正成又正成とも打は作地
鉄細小自深くよふや来正成とも切正成盛と切ハ二代目外あり

細廣

相州佐細廣ハ地鉄ふくく又ふくく又ふくく又ふくく又ふくく
初代お佐佐細廣と号りて古も有

細廣

伊勢大探孫系細廣は作者又同一敷代と号つたり又細ハ天文
の比の人と号つたり

鎮政

伊賀國名張佐人本國豊前と号初代も住す能事孫系鎮政と
切は作自深く地鉄細又系や也

正細

栗田口孫系正細ハ初代大探孫男一子子子子也地鉄細ふくく又
丁子龜文あり

包細

栗田口孫系包細初代忠經弟子也江都にも住すは作地鉄細ハ丁
子龜文あり

康細

初代佐佐國康細は佐人住す多ふくく又ふくく又ふくく又ふくく
當つ探康細と切ハ有富文あり

義忠

和州の佐義忠ハ佐人地鉄細ふくく又ふくく又ふくく又ふくく
又細直又佐佐系佐國の如きりのり

國富

日向國佐人國富ハ井上と号ふくく又ふくく又ふくく又ふくく
自深く終く出来ふくく又ふくく又ふくく又ふくく

國時

城州佐國時佐人とも打ハ地鉄ふくく又ふくく又ふくく又ふくく
一のふくく大龜文ふくく又ふくく又ふくく又ふくく

國定

佐中國の佐佐城前大探國定ハ山城大探國重子也此作ハ佐物
多し佐佐城ハ山城大探ハ佐人佐佐城前佐佐城前佐佐城前

國維

大坂佐吉重ハ後の銘也相模守國維ハ地鉄ふくく又ふくく又ふくく
ありて中龜文あり

祐春

招洋任源祐春ハ花房祐國ノ甥也地鉄むつろ多と信國ハ似たり
中龜文のつれ又多し小宮美濃源祐喜切久左衛門と稱す

一峯

江州住人傳々木入道源一峯地鉄ざんぐりとして強く荒籠者
を養げしと云ふ事あり後ハ江戸赤坂に住す

一峯

吾一峯の子也言四郎と云江戸赤坂又住す是作父の作也
やう物也

國正

伊豫國宇和島住人後河内國正初代上手也又よして小籠
中龜文多し數代又河内比より付ふるに達路す

延房

丹波守藤原延房地鉄細又細い事とあり小籠者上手也尾
州崎崎の住人としてちよと云ふ事ありて見たり

正勝

大隅守藤原正勝と云ふ事と塘川の正弘と云ふ事とあり
大正の住人としてちよと云ふ事ありて見たり

康繼

越前康繼於武州江戸以南重鐵作之と切藝打家藝下坂と号す
地鉄細又小籠者として自保し物と云ふ事とあり

國正

江戸住法城寺住人但も藤國正と切此作地鉄と云ふ事とあり
荒籠自保しとしてちよと云ふ事ありて見たり

國光

江戸住法城寺掃國光と切此作右の國正とも云ふ事とあり
て見たり又物也

正弘

江戸住法城寺弘と切此作も右の國正とも云ふ事とあり
又小出弘との多し

吉正

武州住上野ぬ吉正と切此作直又強く出きて地鉄リと云ふ事
との也

國清

越前の人や山崎守藤原國清と切此作も切此作ハ地鉄玉
つとまりて細又細きと云ふ事とあり又ハおと水

金道

東和守藤原金道の二代目榮泉の子也此作父よりも地鉄ハ
と云ふ事とあり大龜文ハハ花やと云ふ事とあり

正俊

京越中守正俊の二代目ハ榮泉と云ふ事とあり此作ハ地鉄つ
とまりて自保し物と云ふ事とあり

兼増

大坂住人掃屋守兼増と切此作地鉄あまうり龜文又小と云
ふ事とあり

包道

大坂住人伊賀守源包道一書又中川包康の二人とも長左衛門と稱
包信包則越前守包貞ホウ師也包昌と云ふ事とあり也包昌後包道二代歟

重虎

播磨住源重虎と切は作地と云々又て下へ小龍録ある烈一

秀辰

山城守秀辰大坂住人地録と云々切は作地と云々又て下へ小龍録ある烈一

宗重

大坂常陸守宗重の二代目嘉重と打は戸も住すは作父の作小

正道

大坂住人播磨と録系正道と切は作地録と云々又て下へ小龍録ある烈一

國幸

播磨住源國幸八坂川國廣の弟子と云々切は作地録と云々又て下へ小龍録ある烈一

在吉

平安城住阿波と録系在吉國廣の弟子と云々切は作系物の中とて八坂

則定

平安城住則定と切は作地録と云々又て下へ小龍録ある烈一

助宗

信州住助宗は作地録と云々又て下へ小龍録ある烈一

則房

藝州住源則房は作地録と云々又て下へ小龍録ある烈一

菊平

加阿住源菊平は作地録と云々又て下へ小龍録ある烈一

安吉

筑前源安吉は作地録と云々又て下へ小龍録ある烈一

吉次

信國源吉次は作地録と云々又て下へ小龍録ある烈一

國綱

阿州住源國綱は作地録と云々又て下へ小龍録ある烈一

國吉

武州住源國吉は作地録と云々又て下へ小龍録ある烈一

助重

出羽源助重は作地録と云々又て下へ小龍録ある烈一

助信

出羽源助信は作地録と云々又て下へ小龍録ある烈一

大坂四代目河内也六々子王國粹家子と云は作地録ハ
能つる其強かゞ自も父祖よりおとしり

京都に居城後守邦系来金道と切地談ぐんぐりと概自方て
中島又虫又方或云慶長の比ふ里をたの堀川佐と同人々も急ぐべ
平安城佐長吉と切地作地談つち多て虫又多し自深くよ事也
一書云美川又佐六多南尉と称明物と能す

平安城佐長吉と切込作地鉄つち多て虫又多し自深くよ手也
一書云夷川又佐六多南尉と称彫物と能す

三井田之屋當歸京國義八束行廣智行吉う兄弟坂高井誠前智行
吉う兄うて束江州彦和家所少候うも任す是處能あう哉若と凡
三束堀川住豊後守義國と切地鉄細ふ打也保き龜文多し少證白
あ里

三糸塘川徑豐後守義國と切地狭小打也浦々氣又多し少路白
安里

行徳寺蘇原行吉ハ其井國公家位吉著ク父也蘇原行吉ハ源行吉ヨリ
其ハ其年抄多ク其事也

平安城往則國は作の多し集ふ多し其作を足す務むたるよしと
いふ御以て整く文ふ要く

三条堀川往高道と切此作地鏡如事此何なるに似たり誠後昌葉長
九年の作御免る按ふ所目代伊州を憐て三条堀川と切西越後お住する所

出羽大掾國路二代目奉の字ふしは佐地鉄砂又鬆臼習て大龜文多し

伯州道祖屋
出朱多一

此物僅存祖屋數十部舊書此作吾不同一水龜文亦一之自保之見
事本物有伯耆國住と斗も切一也

何處念吉住見因之郎を衛廣其は作否ふ日備あふむふしそ
 自你し備あふむ日備あふむふしそ

何れも去任せしむるに當り、廣く此作を以て志の起るゝを傳
ふる爲め多し、嘉吉とも切

仙臺國高古佐歴賀は佐有まおあじちて備前氣文まてつ通うふ
 てつ備前ふ孫まてつつ又極別の物や尺田助を弟と云

伯耆國佐廣知作と打は作者同し又田助者なりと稱す龜之丞多し

上総の孫原と重和家とといふ人と之ゆへ
とて鑑多し海産も又ありし

金藏

美濃國住人たれと云ふ孫系金藏は作地録細く録有るなりと云ふれ在又曾後江戸へ下りて神田又住二代目ハ常陸守と云ふ

國重

侍中國人又國於侍所あま山作は作地録つゝとある録有りて元なり也

國重

備中又田村十郎於阿波國住は作地録細く水田の内にてハ尋常の出来と云ふし

忠吉

肥前國住人土代も孫系忠吉は作地録細くしてナニ又又ハ龜文又もあり上手也

忠吉

近江大掾為系忠吉は作地録細く又又又ハ孫系の五代目也享保の作也

忠吉

飛前國孫系忠吉同又又又ハ作ハ七字ありて古く見ゆれハ二代目仕業の作なりと云ふ

金辰

因幡守孫系金辰は作地録細く自りて龜文又又又ハ國録所あるに

繼平

越前國の住人より後ハ江府又住子孫系繼平は作地録細く又又又ハ孫系繼平と云ふ二代目康徳の人と云ふしは作地録細く又又又ハ孫系繼平と云ふ

上之下作列

金道

京都伊賀守孫系金道の二代目日本録信宗通と云ふ録也は作地録と云ふと大龜文又又又ハ孫系金道と云ふ

正俊

京畿中又正俊の二代目系を切關龜文の如くして地録強く出あふ多し四代目ハ別と云ふ

吉道

東丹波守三代目は作地録つゝと云ふりて又又又ハ孫系吉道の作也孫七郎と云ふりて又又又ハ孫系吉道の作也

信吉

河内住信吉孫信吉父孫系信吉并ハ孫系信吉と云ふりて又又又ハ孫系信吉の一人ありて又又又ハ孫系信吉の一人ありて又又又ハ孫系信吉の一人あり

國武

平家城住國武ハ堀川國廣の弟子よりて上手也一書云江戸初代出云と云ふ師ありと云ふ

法道

城州住法道ハ大坂よりて打と云ふ後ハ城州西京向日明神の通る住す録の如く又又又ハ法道の心得づし小録ありて又又又ハ法道の心得づし

刺國

平家城住孫系刺國ハ後國武よりて上手也又又又ハ孫系刺國の心得づし又又又ハ孫系刺國の心得づし

國吉

和州住越中守藤原國吉ハ郡山力任人也此作並みおけり是録多
く被り書けり吉小似するもの也

國助

河内守藤原國助ハ大坂中河内ノ父也京國廣々つん也一書ハ城
州住河内守藤原國助ハ大坂住初代藤原國助ハつん也中河内ノ父也

國助

兄也國助ハ河内守藤原國助ハ弟後江戸下ノ小林源一と稱す一書ハ
伊勢神戶國助ハ石見守也と云々中心の形跡要し重いつづりし

國次

武藏守國次ハ河内守藤原國助ハ弟中河内ノ弟也丁子龜文大龜
文いつくゞゞゞて花やう書出來て城録ハあるなり也

忠行

大坂三代目指津書津書父の如くあゝあゝとれれと直又ハすれ
れと上手也録長方多し

忠行

栗田口指津守津書父の如くあゝあゝと弟也又書つんと稱す此作亦
おあゝ録長方の上あり

忠行

指津書津書父の如くあゝあゝと弟也又書つんと稱す此作も亦同しは
一録ハおあゝと書つたものと云ふとす

忠重

指津生五莊井上忠重ハ初代忠重ノ弟也又書つんと稱す此作ハ地録
五と強くあると録つきて下忠重といふとも不慮き物多し

康廣

大坂三代目傳中守橋康廣此作大龜文多し康ノ子傳吉園ハ
と稱す四代目も傳中守橋康廣と也

為廣

松州住橋為廣ハ初代康廣ノ弟子也此作も亦同し石堂の一家
ハ多分其弟也福地多羅花橋其切實なり也

昌富

松州住昌富ハ江戸つりし此作地録つくと云ふとて地録小録
多しと云ふ也

貞廣

高柳加賀守藤原貞廣ハ大坂又佐田國誠希也里ハ本國のちん也
あゝと録自深く花やう書物也

有續

神力丸有續ハ吾々廣ノ子也父子並作多し此作父ハ佐求屋録
地録ハすこゝあゝと書つたものと稱す

為康

相模守為康ハ大坂の任人又四陸要もとい別人也自深く花房録
あゝと書つたものと云ふとて不慮き物也

定重

大坂任人也源定重と云 秀吉公の録也又又とて京都大坂
正弘少似て物有と云ふとて地録は源定重又濃州関佐大坂切

祐定

備前長船住祐定ハ正弘代末葉と云大坂又佐求屋と云ふとて
佐求屋と云ふとて祐定同佐求屋と云ふ

氏房

尾州住人飛騨守藤原氏房は作地鉄よりして強くいふく刀を
いふ大氣文あり

氏房

若狹守氏房尾州濃州ありて住す此作地鉄堅くつまむ自保く
関づれの大氣文あり

盛道

おろち原盛道是又尾州住人也作地鉄ハ壽命のつゝあり
て直又の力強きとす一氣文又ハ勝一き物あり

盛道

尾州住人藤原氏房は作地鉄堅くつまむ自保く
道波卓つゝ大目強河ハ天正迄あり武花強河ハ長き
直

正全

豊後守源正全美濃國住人ハ作地鉄ハ出束の甲乙ハ堅く
又強して古國の如き物有住地鉄ハ堅く又ハ堅く

廣重

因幡守廣重ハ作地鉄ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く
又ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く

義助

駿河守源義助ハ作地鉄ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く
のこは物有住地鉄ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く

家包

駿河國住家包地鉄ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く
いふ大氣文あり

助宗

豊後探藤原助宗ハ作地鉄ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く
直又ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く

助宗

播磨大探藤原助宗ハ作地鉄ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く
四の貞行ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く

ト傳

常州水戸住人ト傳ハ作地鉄ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く
銘之吉つと打し時出物多し強久の評ヤハ堅く又ハ堅く

廣助

駿河守廣助ハ作地鉄ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く
直又ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く

國照

佐吉大探藤原國照ハ作地鉄ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く
多く自保く又ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く

東連

武州住人東連ハ作地鉄ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く
物能く又ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く

守久

武州住人守久ハ作地鉄ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く
又ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く

吉武

出云大探藤原吉武ハ作地鉄ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く
又ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く又ハ堅く

吉正

上野牧吉正武州佐と号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

廣國

お州佐廣國ハ移りては物ありと号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

安國

武藏守安國ハ佐佐木村加トツ子と号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

守正

和泉守守正ハ佐佐木村加トツ子と号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

安永

武藏國樺山の住人安永ハ石を号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

照門

丹波守照門ハ佐佐木村加トツ子と号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

吉門

越前守吉門ハ佐佐木村加トツ子と号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

兼信

陸奥守兼信ハ美濃の住人兼信ハ佐佐木村加トツ子と号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

政常

相模守政常ハ佐佐木村加トツ子と号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

政常

美濃守政常ハ佐佐木村加トツ子と号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

清宜

近江守清宜ハ佐佐木村加トツ子と号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

清宜

備前守清宜ハ佐佐木村加トツ子と号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

兼定

奥州佐兼定ハ佐佐木村加トツ子と号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

長道

陸奥大掾三善長道ハ奥州佐佐木村加トツ子と号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

道長

陸奥守道長ハ佐佐木村加トツ子と号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

政長

奥州佐政長ハ佐佐木村加トツ子と号すも切關善兵衛吉と号す源左衛門尉と
号す才武あるは移りては物あり

兼先

國州住孫系兼先ハ兵右衛門と号ハ此作細又白深ク地鉄細
強ク一ト上ニ免氣又ハ管焼の如ク出テ上系ハありす
播磨大縣孫系正徳ハ仙州倉吉住リ別所之部と号ハ此作地鉄細
又白深ク細又

正網

仙州高見住兼此作ハ地金細又一ト白深ク又多ク免氣又
ハ管焼の如ク出テ上系ハありす

廣賀

仙州國住道祖尾七郎左衛門尉廣賀此作地鉄細又小籠白深ク
小籠又ハ仙州別所免氣又ハ管焼の如ク出テ上系ハありす

氏重

運陽住人太和左衛門孫系正徳ハ仙州倉吉住リ別所之部と号ハ此作地鉄細
又白深ク細又

祐定

備前國住長船七郎左衛門尉祐定此作地鉄細又小籠白深ク
小籠又ハ仙州別所免氣又ハ管焼の如ク出テ上系ハありす

祐定

越前國住長船七郎左衛門尉祐定此作地鉄細又小籠白深ク
小籠又ハ仙州別所免氣又ハ管焼の如ク出テ上系ハありす

國宗

備前國住長船七郎左衛門尉國宗此作地鉄細又小籠白深ク
小籠又ハ仙州別所免氣又ハ管焼の如ク出テ上系ハありす

守吉

備前國住長船七郎左衛門尉守吉此作地鉄細又小籠白深ク
小籠又ハ仙州別所免氣又ハ管焼の如ク出テ上系ハありす

為家

備前國住長船七郎左衛門尉為家此作地鉄細又小籠白深ク
小籠又ハ仙州別所免氣又ハ管焼の如ク出テ上系ハありす

國重

備前國住長船七郎左衛門尉國重此作地鉄細又小籠白深ク
小籠又ハ仙州別所免氣又ハ管焼の如ク出テ上系ハありす

備中國水田佐國重ハ者のたき制子あてと故き制と異なりは作も
 小同し物打の足録ふく鉏えすり切先中て罷あくなちをさす
 備中國ふふ佐國重ハ俗名市と制とをたき制と異なりは作も
 同し録の鉏えすり障あてちふきとをさす

傳中國の國重、法者、つと稱す。市に賣買之は作地、鉄鋼を
し、て輓一の作よりハ少龍より一と云、其屋きりの多し。

傳中國之國名ハ大々謂スルヲ子山陳大掇ク
 弟子之以此地鉄細クモ有ル也

二代目越前大掾國定ハ平九郎と云ハ此父の如き人物も有又地
續細工て直因小出等と云も可

後中國の臣國重ハハ所々と稱す此作ハ大ニ云々也

備中少田村の所作之切阿州永田の二代目や此は備中の人、
と云ふ條も細小揃に記す也要は左邊のと云は備中福江にも在す

秘者又同じ阿あおのて代目と作るはふうにすまへ程のち
育出来も者づき少くあゝとて起ぬ

秘者又同じ阿あおのて代目と作るはふうにすまへ程のち
育出来も者づき少くあゝとて起ぬ

倭中國の國體ハ倭國に當リ強大なる所也其地鉄石を産
又小鐵自產する所と云ふ事也地鉄ハ強き方よりあるべし
備後國福山佐田縣大掾源國成の國よりても打玉は作ハハ
國重く作不能なりと云ふ人ある我

我朝位尊衆多作地鎮西より初代伊やうき金道より西より
よりより常事物也又少皇の力てもより筑前より後す

龍子國福宮住此作地録つまゝと上書けり河と小龍
又五実の如し

信國吉雅作と切同國作也地鉄細小潤いより青く小龜文白漆
一銘に到て小銘より光るまで

源修國平四郎吉政筑前國人也此作爲了同一小説又入之

新嘉國源吉寛は作地鉄砂又白膏て虫又ハ龜又モ有吉政ハ龜
又の意也

新加坡柳川位畧塚吉國又同國久為來るも位すは作地を細く白け
直ぐふくく少くの内へて有る又大龜文あり有

新加坡柳川位畧塚吉國又同國久為來るも位すは作地を細く白け
直ぐふくく少くの内へて有る又大龜文あり有

えそくぐや
匿陽國衙在金重河州波平より播州姫路へありす金重丸とも
切播磨とありす多田雲とありすと呼

ち和ち孫系枯雲ハ儘ありや直ふして其の上強くすゝゝる出
来也龜文あり難ふくして自然一遇結するも有りものや

河内守禮を策あつてを以て行宮の上より切條ありて人々を以て作も者
又月一龍文の方ありし

山銘より横山止勝大縁裕宣備前住人也所不出す横山の子とて郷々父り候所似し玉造き大龜又丑花やう成物多し

加州金澤住人龜巻ハ志津少和ニ任す園の和泉の雪下兼立う未ふ
て代々五郎左衛門と云寛永以迄今時迄七代事傳す久祖也

加州佐藤原重継之祖子孫也。一切の操業は其の以て。其の能
志より少額にして、自派之行國の重包より、其の不足を以て、其の物有

此州作爲原家此也其後細不極目綴ふしてちる所ある又ハ
 能くするて烈を出来てゝも有

越前佐々木家次は作柄自秘して小説自叙すありし然るを
しゝるより佐々木の形をえつて其のよき也世に稀あり

豊州高田佐藤原重行又四字詔あるは作地鎮ちありて甚く隆く
中亦又細古又ハ海内指折の七手也龜文皆燒母ハようべ

聖賢任人大利乎國濟此任者又同一地宜の歸りハ犯す物不
 らずといふも自い濟くかし悪氣有るは之の更不也

豊州佐々山城主榑桑重房は作も巧み同じ筆の方皆焼又
出来て花やう来りの香をついで古きうらなむす

其外之論僅爲臆言以此作又存不同一因則其代筆先有直又其終
似有者重行也也一がうし

豊前佐人山城守孫猪平國平是亦君不同し
 小堀自より事多し其子孫の如くハナハナ

豊州の人々大に探訪を乞ふ。二夜目、以作父の作を傳ふ。金起程の上、~~父~~父の直母をよゝとす。飛文あはすかず。

貴州人なり守其國新仕任者同じし撫之る因ハ辱ハ皆彼
中より物も寵ふの端ハ有るくして去けざる程あり

山上播磨守國隆ハ豊前赤松ノ臣ナリ大坂中河原ヲツク人ナリ也此邦ニ傳
メヨリテヤ鐵ハ古板打ノ凡有保國神小似テリト云過カキテ

吉貞

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

茶平

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

行平

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

兼廣

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

宗次

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

吉信

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

重國

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

助政

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

長國

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

高綱

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

國林

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

國康

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

盛國

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

貞秀

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

忠道

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

國博

肥前國住人兼平此住地鉄細又小鉄葉より有て自深し物ハ
代々一筆の作の如くあるあり

吉家

加州佐藤系吉家作と切地を強くあつて自保くふ本邦又念身
又遠く是れ文有佐多て而全地物多し

吉家

加州金澤佐藤系吉家作と切吉家作の作と切地を強くあつて
自保くふの吉家又同し

信照

伊豫系佐藤ハ地を強くあつて自保くふ本邦又念身何れも
中か本物多し或云尾山佐藤同人也と

廣信

伊豫系佐藤ハ地を強くあつて自保くふ本邦又念身何れも
中か本物多し或云尾山佐藤同人也と

包宗

和州佐藤系包宗と切地を強くあつて自保くふ本邦又念身
少し乾きあつてあつて地物多し

包明

大和國包明と切或ハ和州佐藤系包明と切地を強くあつて
自保くふ本邦又念身何れも中か本物多し

包守

南都又味系包守作と切地を強くあつて自保くふ本邦又念身
中か本物多し或云尾山佐藤同人也と

貞重

和州系貞重ハ尾山佐藤系貞重と切地を強くあつて自保くふ
本邦又念身何れも中か本物多し

守正

子多院系守正守正作と切地を強くあつて自保くふ本邦又念身
中か本物多し或云尾山佐藤同人也と

清平

相州小田原ハ清平佐藤作と切地を強くあつて自保くふ本邦又念身
中か本物多し或云尾山佐藤同人也と

義行

豊州高田佐藤系義行佐藤作と切地を強くあつて自保くふ本邦又念身
中か本物多し或云尾山佐藤同人也と

統行

豊州高田佐藤系統行佐藤作と切地を強くあつて自保くふ本邦又念身
中か本物多し或云尾山佐藤同人也と

宗安

肥前國佐藤系宗安佐藤作と切地を強くあつて自保くふ本邦又念身
中か本物多し或云尾山佐藤同人也と

菊平

肥前國佐藤系菊平佐藤作と切地を強くあつて自保くふ本邦又念身
中か本物多し或云尾山佐藤同人也と

國義

日州和田佐藤系國義佐藤作と切地を強くあつて自保くふ本邦又念身
中か本物多し或云尾山佐藤同人也と

國次

日州和田佐藤系國次佐藤作と切地を強くあつて自保くふ本邦又念身
中か本物多し或云尾山佐藤同人也と

新刀辨疑卷之二終

